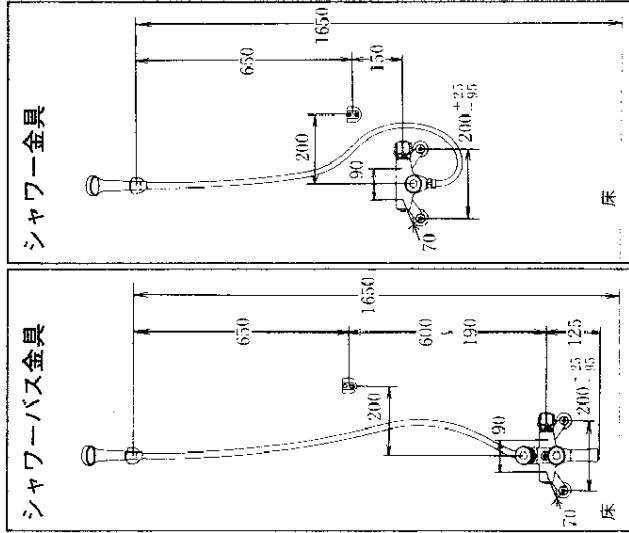


“自閉式”サーモスタットシャワーバス金具 ・シャワー金具取付説明書

完成図

- 一般用 (TM740C) (TM741C)
日本水道協会型 (TM740CH) (TM741CH)



使用条件

1. 使用水压
(1) ガス瞬間湯沸器と組み合わせる場合
給水圧力—— { 最低必要水压…… (表参照)
最高水压……………6.0kgf/cm²

湯沸器 号数	最低必要水压
8号	湯沸器の最低作動水压 + 0.6kgf/cm ²
10号	// + 0.8kgf/cm ²
12号	// + 1.1kgf/cm ²

能力切替式湯沸器で次の号数に切替えられる場合

8号	湯沸器の最低作動水压 + 0.7kgf/cm ²
9号	// + 0.8kgf/cm ²
10号	// + 0.9kgf/cm ²

以上は下記条件を想定して求めた水压です。

- シャワー水勢調節弁は全開 (シャワーバス金具の場合) ● 夏季水温 25℃
- 湯沸器温度調節は「高温」に設定
- シャワー吐水温度 42℃ ● 給湯配管長 5m

(2) 貯湯式温水器と組み合わせる場合

- 給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.5kgf/cm²
最高圧力……………6.0kgf/cm²
- (a) 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- (b) 給水圧力が6.0kgf/cm²を超える場合は、市販の減圧弁で2.0kgf/cm²程度に減圧してください。

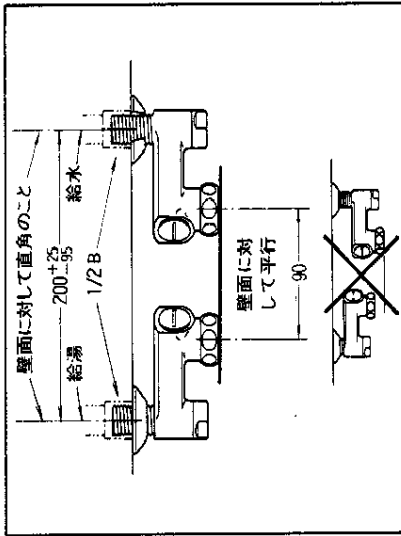
2. 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。

3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

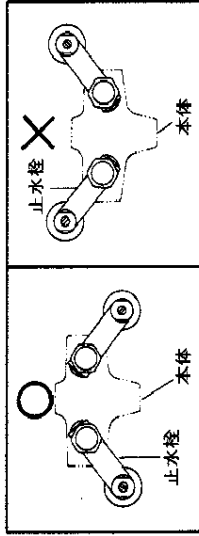
4. 湯・水を逆配管しないてください。なお給湯器からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
2. 止水栓の取付け



※止水栓の取付位置が本体よりも上になるとストレーナの着脱ができませんので必ず下になるように取付けてください。



3. シャワーホースの取付け (シャワーバス金具の場合)

● 本体を止水栓に接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。

温度調節

工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、ダイヤル通りの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

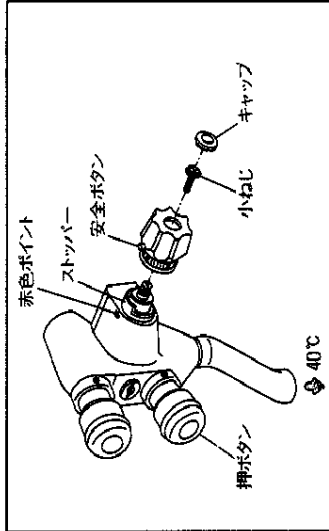
調節する前に次のことを確かめてください。

- (a) 止水栓が開かれているか確かめる。
- (b) ストレーナのごみつまりはないか。
- (c) 十分な温度の湯がきているか。

● 調節要領

(1) 押ボタンを押して吐水させ、温度調節ハンドルの目盛に関係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。なお、高温側へ回すときは安全ボタンを押してください。

(2) その位置で温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ、小ねじを外し、ハンドルを抜きとる。なお、ストッパーが外れたときは分解と点検の項に示す位置に正しくはめてください。



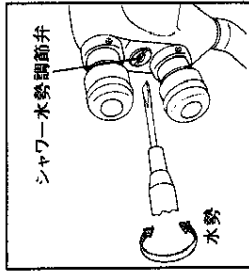
(3) 温度調節ハンドルの“40”の文字を赤色ポイントに合わせてハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめる。

水勢・吐水量・吐水時間の調節

1. 水勢の調節

- シャワーバス金具の場合

・ カラン側は止水栓にて調節してください。シャワー側には水勢調節弁が付いていますので、ドライバーで回して調節してください。



- シャワー金具の場合

・ 止水栓にて調節してください。

2. 吐水量又は吐水時間の調節

吐水量又は吐水時間の調節は、調節リングが付いていますので次の要領で調節してください。シャワー吐水時間の最大は、毎分12ℓ程度の水勢でおよそ40秒程度です。又、1回転あたり4～5秒間程度変わります。

(1) 調節リングの小ねじをドライバーでゆるめる。
(2) 調節リングを回して吐水量又は吐水時間を調節する。

右回転……多くなる。長くなる。

左回転……少なくなる。短くなる。

(3) 押ボタンを押して吐水量又は吐水時間を確かめる。

(4) 調節が終わ

たら、調節

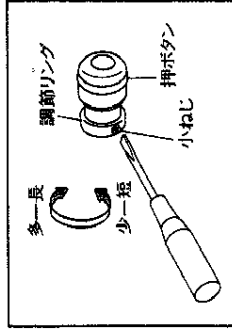
リングが回

らないよう

小ねじを十

分に締付け

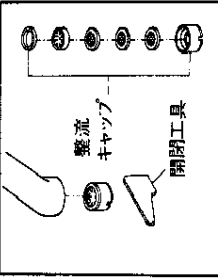
てください。



取付後の掃除

1. ストレナーの掃除
止水栓のストレーナがつまると吐水量が少な
くなったり水又は熱湯しか出なくなると十
分な機能が発揮されなくなります。器具取付
後は、必ずストレーナを掃除してください。
また、お客様にもときどき掃除していただ
くようにご指導ください。
2. 整流キャップ及び自閉弁の掃除
整流キャップ及び自閉弁のストレーナ・減圧
板がつまると水の流れが乱れたり、流れ放し
になるなど十分な機能が発揮されなくな
ります。器具取付後は、必ず掃除してくだ
さい。また、お客様にもときどき掃除して
いただくようにご指導ください。

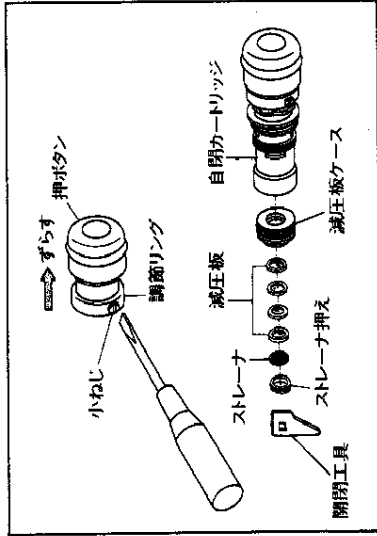
- 整流キャップの掃除（シャワーバス金具の場
合）



付属の開閉工具で
取出し掃除して
ください。

● ストレナー及び減圧板の掃除

- (1) 止水栓を閉じる。
- (2) 調節リングの小ねじをドライバーでゆるめ
て調節リングを押ボタンの方へずらす。



- (3) 自閉カートリッジをスパナでゆるめて取出す。
- (4) ストレナー押えを付属の開閉工具で外す。
- (5) ストレナーを取出し（取出しにくい場合に
は減圧板ケースも取外してください）、網
目につまったごみをブラシなどで掃除し十
分水洗いする。
- (6) 減圧板を取出し、裁縫針などの針先で小穴
をつついて掃除する。

注：減圧板は4枚使用しています。組立ての際
は必ず4枚とも組込んでください。

（小穴の方向性はありません）

注：組立てる際はストレーナ押え・減圧ケー
ス・自閉カートリッジ・調節リングの小ね
じがゆるまないよう十分に締付けてください。

注：付属の開閉工具は必ずお客様にお渡し願
います。

お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つよ
うに、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油
やカーワックスなどをしこませた布でふく
こと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失
うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがきが粉など粗い粒子を含んだ
洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しない
こと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、
すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検箇所	点検箇所
カランからの吐水量が多い	1.7.8.10
カランからの吐水量が少ない	1.2.6.10.12
カランからの水勢が強い(弱い)	1.12
シャワーからの吐水時間が長い	1.⑦.⑧.⑩
シャワーからの吐水時間が短い	1.2.⑥.⑩
シャワーからの水勢が強い(弱い)	1.2.13
水が止まらない	7.8.9
高温しか出ない	1.2.3.4.5
低温しか出ない	1.2.3.5
ダイヤル通りのお湯が出ない	1.2.3.4.5
調節リングが回る	11

※○印はシャワー用自閉弁の番号箇所を点検してください。

